

合同ポスター発表

北海道薬剤師会薬局部・・・・・A 北海道病院薬剤師会・・・・・B

日本薬学会北海道支部・・・・・C 日本社会薬学会北海道支部・・・D

日 時 平成26年5月25日(日) 9:30~15:30

会 場 札幌コンベンションセンター 1F 大ホールA

●示説時間 奇数番号:13:30~14:30 偶数番号:14:30~15:30

北海道薬剤師会薬局部

A-1 慢性疼痛患者の疼痛改善とQOL維持増進に向けた保険薬局の取り組み
～プレガバリン 使用実態調査～

○中村麻美 吉見裕幸 横手るみ子 山本洋介 梅安雅満
つがやす薬局東2条店

A-2 プレガバリン、トラマドール・アセトアミノフェン配合錠によるSEの実態
調査について

○西田純子 山口彩花
株コムファなどの花薬局美しが丘店 などの花薬局平岸店

A-3 抗凝固薬に関する使用実態調査

○工藤剛裕 赤間祐二 橋本奈々恵
株コムファなどの花薬局真栄店、千歳店、江別元町店

A-4 うつ病患者の睡眠状況と薬物治療に関する調査

○平井麻依子 米倉聰志 大房洋一 黒瀬かがり 工藤剛裕
佐藤順子 吉村麻裕 澤野亜沙美 山口紫野
株コムファなどの花薬局真栄店

A-5 ラメルテオン使用患者の実態調査と今後の指導について

○山澤隆太郎 黒瀬かがり
株コムファ

A-6 小児における薬の服用方法とその実態

○竹本守林 寛子 亀谷りつ子 木原由貴
株コムファなどの花薬局小樽山の手店

A-7 湿布剤を後発品へ変更する際の、患者の選定基準の調査

○大野伴和 藤原舞子 遠藤泰明 松本健春
株まつもと薬局

A-8 保険薬局における糖尿病療養指導～運動療法への取り組み～
【医師・看護師・管理栄養士とのチーム医療を目指して】

○余西竜弘¹⁾ 刀禍谷雅之¹⁾ 田中啓介¹⁾ 梅森ひとみ¹⁾ 松本健春¹⁾
一色恵¹⁾(管理栄養士) 横田友紀²⁾(看護師) 堂前奈津子²⁾(看護師)
株まつもと薬局自由が丘店¹⁾ 山田内科クリニック²⁾

A-9 小樽市夜間急病センターにおける小樽薬剤師会の取組み

○遠藤菊太郎 上野宏幸 橋田智宣 四藤理佳桂 正俊
渡邊秀一 鈴木景就
小樽薬剤師会

A-10 保険調剤薬局に於けるクリーンベンチの有用性～空中落下細菌試験、及び
混注試験による調査～

○添田英男 遠藤春代 山田絵美 足達俊哉 遠藤喬
大倉康
株アポス

A-11 患者の意識調査

○田尾明洋 若松賢 大山裕太郎 安達理恵 松野明香
和嶋孝明 浜田舞 佐藤美峰 沼野達行 正時佐知恵
八木真砂子 藤澤芳則
旭薬みどりがおか薬局

A-12 地域医療再生計画に伴う旭薬みどりがおか薬局の取り組み

○若松賢 大山裕太郎 田尾明洋 安達理恵 松野明香
和嶋孝明 浜田舞 佐藤美峰 沼野達行 正時佐知恵
八木真砂子 藤澤芳則
旭薬みどりがおか薬局

A-13 糖尿病患者への療養指導の取り組み～糖尿病とフットケア～

○大山裕太郎 田尾明洋 若松賢 安達理恵 松野明香
和嶋孝明 浜田舞 佐藤美峰 沼野達行 正時佐知恵
八木真砂子 藤澤芳則
旭薬みどりがおか薬局

A-14 ビスホスホネートMonthly製剤の服用状況

○板本圭造 三浦圭太 小林格 向山一郎 榎本奈津子
大倉康
株アポス

A-15 プロトコルに基づく薬物治療管理導入までの試み(地域指向型薬局・上川モデルの創造に向けて)

○庵 原 伸 也 吉 田 誠 佐 孝 尚 山 本 千 尋 高 杉 公 彦
センター薬局上川店

A-16 吸入ステロイド使用における口腔カンジダ症の防止～薬剤師による口内確認の必要性～

○竹 江 亮 博 矢 作 徹 酒 井 健 太 山 崎 亜 規 子 木 脇 則 克
立 花 秀 浩 菅 原 千 尋 後 藤 康 男 八 木 一 文 新 井 俊
㈱北見薬剤会ミント調剤薬局

A-17 ステロイド外用剤に対する意識調査と適正使用への取り組み

○櫻 間 智 子 井 上 茉 莉
㈱コムファ

A-18 血清点耳液の安定性に関する検討

○小野寺 寛¹⁾ 橋 本 恭 弥³⁾ 戸 上 紘 平³⁾ 遠 藤 菊太郎²⁾ 谷 本 裕 幸¹⁾
丁 野 純 男³⁾
㈱オストジャパン¹⁾ 北海道工大²⁾ 北海道薬大³⁾

A-19 インスリン使用実態調査～糖尿病患者の治療向上のために薬局薬剤師ができること～

○村 井 正 義 笹 別 史 也
㈱コムファ

(北海道病院薬剤師会) 示説時間 奇数番号：13：30～14：30 偶数番号：14：30～15：30

B- 1 在宅用モルヒネ塩酸塩注射液開始に向けた薬薬連携の実例－釧路赤十字病院の場合－

○渡 邊 清 人¹⁾ 千 田 泰 健¹⁾ 高 柳 昌 宏¹⁾ 宮 前 彰 彦²⁾ 石 川 智 一²⁾
釧路赤十字病院¹⁾ 在宅医療福祉委員会²⁾

B- 2 精神科薬物療法における薬薬連携の必要性－持効性注射剤使用シールのお薬手帳へ貼付から－

○佐々木 元 子 石 田 理 絵 滝 澤 理 貴 佐 野 知 子 原 田 雅 史
社会医療法人函館渡辺病院薬剤部

B- 3 薬剤師病棟常駐は薬剤関連インシデントを抑制する

○及 川 孝 司 岩 尾 一 生 遠 藤 泰
北海道医療大学病院

B- 4 処方・注射オーダー入力時の協働

○清 水 勇 基¹⁾ 佐賀美 裕 樹¹⁾ 太 田 明 秀¹⁾ 川 上 麻衣子¹⁾ 北 島 彩 郁¹⁾
森 山 真 実¹⁾ 伊 藤 桂 子¹⁾ 坂 本 和 央¹⁾ 岡 野 翔¹⁾ 重 成 大 介¹⁾
速 水 章 一¹⁾ 大 江 利 治²⁾
社会医療法人 瞳心会病院 薬剤科¹⁾ 社会医療法人 瞳心会法人本部²⁾

B-5 5階みなみ病棟における病棟薬剤業務への取り組み

○中岡由貴 紙谷章基久 宮崎祐加 山田淑恵 多地貴則
増渕幸二 鈴木正樹 篠島弓未子 西村栄一 牧瀬英知
糸川貴之 橋本光生 後藤吉延
旭川赤十字病院 薬剤部

B-6 持参薬鑑別業務の現状把握と問題点の抽出

○飯島直樹 大久保利成 吉田涼 唯野晃弘
イムス(IMS)グループ イムス札幌内科リハビリテーション病院・薬剤部

B-7 添付文書中に定期的な検査に関する記載がある医薬品への対応について

○下道一史 駒澤愛 畑中愛美 里利恵子 吉田さゆり
田村研太郎 井上陽介 近藤智幸 白府敏弘 後藤吉延
旭川赤十字病院 薬剤部

B-8 当院における持参薬に関する疑義照会内容の実態について

○吉村恵理 宮本康史 新崎祐馬 竹内里哉 大西真奈美
上野英文
砂川市立病院

B-9 当院におけるAccessを用いた疑義照会データベースによる業務効率化と情報共有について

○平井まな 吉村恵理 宮本康史 新崎祐馬 三藤陽香
長谷川俊 上野英文
砂川市立病院

B-10 医薬品の不適正使用防止に向けて

○塚越建介 石橋朋子 太田麻衣子 青柳由枝 谷口陽一
聖ヶ丘病院 薬剤部

B-11 新規経口抗凝固薬の適正使用に向けた取り組み

○加藤ゆか 佐々木慎司 菅野崇淑 近藤覚也
製鉄記念室蘭病院 薬剤部

B-12 新規経口抗凝固薬(NOAC)の使用実態調査

○高橋義弥 石川由香理 高橋豊 丸山俊夫 飯坂美香
七尾亮子 谷田拓也
北光記念病院

B-13 循環器専門施設におけるエポエチンβペゴルを使用した患者状態の調査

○坪谷光展 山田智子 佐久間直彦
札幌整形循環器病院 薬局

B-14 外来癌化学療法におけるオキサリプラチンのアレルギー発現状況調査

○渡辺祐子 地主隆文 鈴木直哉 猪俣雅之 福井美規子
吉嶋抄苗 佐々木佳子 徳村麻衣子 高橋誠 青田忠博
北海道消化器科病院 薬局

B-15 当院におけるMRSA陽性患者の発生と広域抗菌薬の使用状況について

○福井 美規子 地主 隆文 猪俣 雅之 吉嶋 抄苗 佐々木 佳子
渡辺祐子 鈴木直哉 徳村 麻衣子 高橋 誠 青田 忠博
北海道消化器科病院 薬局

B-16 バンコマイシンによる腎機能障害発生のリスク因子に対する考察

○小嶋 希望 塚田 晃司 宮本 康史 新崎 祐馬 横山 朝子
河合 祐輔 吉田 憲史 上野 英文
砂川市立病院

B-17 ロキソプロフェン併用後にワルファリン服用患者のPT-INRが上昇した1症例

○三浦 淑恵¹⁾ 小松修一¹⁾ 林 昌広¹⁾ 安澤曜子¹⁾ 中田千絵¹⁾
佐々木 和久¹⁾ 池田 大輔²⁾
市立千歳市民病院 薬剤科¹⁾ 同 循環器科²⁾

B-18 血糖コントロール不良の患者にMRI検査にてインスリン皮下硬結を確認した1症例

○尾崎 尚子 畠山 奈々絵 寺谷 俊昭 遠藤 夏美 長原 しのぶ
大下 直宏 川本 由加里 後藤 仁和
市立札幌病院 薬剤部

B-19 難治性爪白癬治療での抗真菌薬と20%尿素配合クリームの有用性

○砂子田 理恵¹⁾ 潤澤 昌司¹⁾ 小林 愛由¹⁾ 渕上 香菜子¹⁾ 安本 暉¹⁾
池内 恵¹⁾ 今村 倫子¹⁾ 山村 千鶴¹⁾ 上坂 博樹¹⁾ 伊東 敏雅¹⁾
益満 義躬²⁾
愛全病院薬剤科¹⁾ 診療部²⁾

B-20 注射薬袋の作成と運用

○竹内 弘毅 濱谷 忠佑 紺野 昌洋 和田 育男
医療法人雄心会 函館新都市病院

B-21 ユニットロード配送システムによる出庫業務の改善

○小林 愛由¹⁾ 潤澤 昌司¹⁾ 伊東 敏雅¹⁾ 竹原 伸²⁾
愛全会愛全病院薬剤科¹⁾ 事務部²⁾

B-22 病棟を中心とした薬学長期実務実習の実践

○神山 直也¹⁾ 大滝 康一²⁾ 田原 克寿¹⁾ 木村 周古¹⁾ 飯田 慎也¹⁾
山下 恭範¹⁾ 原 千恵子¹⁾ 小川 聰¹⁾ 栗屋 敏雄¹⁾ 田崎 嘉一¹⁾
旭川医科大学病院¹⁾ 北海道薬科大学²⁾

C-1 小腸 α -グルコシダーゼ活性に対する紅茶とアカルボースの併用効果について

○山田将悟 五十嵐将樹 金岡樹輝 千葉洋平 佐藤隆司
渡辺一弘
北海道薬大

C-2 メチルセルロース／アルギン酸混合液剤の物性に及ぼす薬物の影響

○下山哲哉 浦木睦 小林正拓 牧野陽佑 伊藤邦彦
小林道也
北医療大薬

C-3 経口アルギン酸／ショ糖脂肪酸エステル液剤の薬物放出性

○石川知樹 佐藤友宣 田村翔平 下山哲哉 伊藤邦彦
小林道也
北医療大薬

C-4 経口ペクチン／ショ糖脂肪酸エステル液剤の薬物放出性

○佐藤友宣 石川知樹 原純一 下山哲哉 伊藤邦彦
小林道也
北医療大薬

C-5 キシログルカン／ジェランガム混合ゲルの薬物放出性に及ぼすソルビトールの影響

○石川智貴 川下拓馬 山根侑子 下山哲哉 伊藤邦彦
小林道也
北医療大薬

C-6 キシログルカン／ジェランガム混合ゲルの薬物放出挙動に及ぼす糖の影響

○川下拓馬 石川智貴 山根侑子 下山哲哉 伊藤邦彦
小林道也
北医療大薬

C-7 血糖降下薬であるスルホニル尿素剤の簡易懸濁法施行による溶出挙動の変化

○菅野亮太 櫻田渉 下山哲哉 伊藤邦彦 小林道也
北医療大薬

C-8 簡易懸濁法施行時と錠末・脱カプセルの溶出挙動の比較

○佐藤大世 櫻田渉 三橋健介 菅野亮太 下山哲哉
伊藤邦彦 小林道也
北医療大薬

C-9 キシログルカン液剤の物性に及ぼす保存温度の影響

○前川英輝 下山哲哉 宮城由莉子 伊藤邦彦 小林道也
北医療大薬

C-10 メチルセルロース／ジェランガム液剤の付着性の評価

○松原沙耶 下山哲哉 伊藤邦彦 小林道也
北医療大薬

C-11 CYP2C9を介したアラキドン酸代謝におけるアジルサルタンの影響

○山口直人 千田明日菜 劉揚 藤岡可奈絵 向祐志
戸田貴大 猪爪信夫
北海道薬大

C-12 ヒト肝ミクロソームにおけるアラキドン酸代謝に及ぼすアジルサルタンの影響

○湯浅麻記 千田明日菜 橋本茉弥 斎木章太 向祐志
戸田貴大 猪爪信夫
北海道薬大

C-13 CYP2C8を介したアラキドン酸代謝におけるアジルサルタンの影響

○毛木菜摘 千田明日菜 寒藤雅俊 枝澤瑞記 加藤由佳
向祐志 戸田貴大 猪爪信夫
北海道薬大

C-14 アレーン求核種を用いるビスインドール類の合成研究

○横山翔平 大場一生 坂東佳汰 山田康司 石倉稔
北医療大薬

C-15 活性メチレン化合物を用いるインドール誘導体の合成

○與佐岡綾乃 飯田志織 山田康司 石倉稔
北医療大薬

C-16 ヒト培養骨格筋細胞の糖代謝と増殖因子の発現に対する圧力負荷の影響

○須賀明輝 飯塚健治 町田拓自 平藤雅彦
北医療大薬

C-17 血管平滑筋細胞でのアラキドン酸代謝系に及ぼす圧力ストレスの影響

○青田晃明 町田拓自 中野敬太 高塚あかり 飯塚健治
平藤雅彦
北医療大薬

C-18 サイトカインによるADAM17の発現調節メカニズムの解明

○倉田舞 高栗郷 佐藤久美
北海道薬大

C-19 アドレナリン受容体を介したREDD1遺伝子発現の調節

○平出幸子 柳川芳毅 松本真知子 富樫廣子
北医療大薬

C-20 マクロファージにおけるIL-33産生の新しい調節機構

○山川 拓 柳川 芳毅 平出 幸子 菊地 義明 松浦 泰寛
深尾 将史 富樫 廣子
北医療大薬

C-21 *Delphinium*属植物の塩基成分の探索研究(3)

○中田 純子 長谷川 裕子 東松 美映 浅川 英里加 山下 浩
和田 浩二
北海道薬大

C-22 オクトリカブトの塩基成分の探索研究(4)

○眞坂 拓実 照井 純佳 桑原 菜摘 内田 麻梨子 竹田 桂子
宗像 奈央子 山下 浩 和田 浩二
北海道薬大

C-23 CYP1B1阻害活性に及ぼすフラボン類の併用効果

○斉藤 大輔 坂川 彩 伊藤 慎二
北海道薬大

C-24 ラット肝臓のLDL receptorタンパク発現に及ぼすisoprenyl alcohol投与の影響

○館内 謙太郎 古野 玲花 八巻 貴太 竹内 涼太 廣瀬 皓己
加納 誠一朗
北海道薬大

C-25 アナフィラキシー様反応誘発ラットのケミカルメディエーター遊離に対するACE阻害薬の影響

○佐藤 明日香 岩田 風馬 瓜智都 神林 浩貴 東寛
館内 謙太郎 井上 直哉 加納 誠一朗
北海道薬大

C-26 メトホルミンの腎スライスへの取り込みに対するカチオン性尿毒症物質の影響

○綿貫 奨 市村 祐一 小田 雅子 齊藤 浩司
北医療大薬

C-27 ビアペニムの腎スライスへの取り込みに対するクレアチニンの影響

○赤尾 拓実 市村 祐一 小田 雅子 齊藤 浩司
北医療大薬

C-28 大腸発がんを調節する β -cateninシグナル制御におけるビタミンD受容体の機能解析

○井上 洋子 仲川 萌三 上唯 澤田 香織 寺崎 將
増田 園子
北医療大薬

C-29 大腸がん細胞より単離した CD44^{high} 細胞の幹細胞特性と治療標的分子の網羅的探索研究

○大村侑平 小野正貴 中村佳穂 濱崎祐輔 寺崎将
増田園子
北医療大薬

C-30 ライブイメージングによる大腸がん幹細胞の特性解析

○高木賢太郎 山本咲絵 前田紗菜恵 寺崎将 増田園子
北医療大薬

C-31 正常ヒト細気管支上皮細胞における H₂O₂誘導細胞障害に及ぼすテトラサイクリンの影響

○廣原綾乃¹⁾ 佐藤貴博¹⁾ 松井愛子¹⁾ 中富貴之¹⁾ 岩山訓典²⁾
大滝康一^{1),2)} 早勢伸正¹⁾
北海道薬大¹⁾ 旭医大病院薬²⁾

C-32 正常ヒト細気管支上皮細胞における H₂O₂誘導細胞障害に及ぼすミノサイクリンの影響

○佐藤貴博¹⁾ 廣原綾乃¹⁾ 松井愛子¹⁾ 中富貴之¹⁾ 岩山訓典²⁾
大滝康一^{1),2)} 早勢伸正¹⁾
北海道薬大¹⁾ 旭医大病院薬²⁾

C-33 ドクウツギ科植物 *Coriaria japonica* の成分について

○長谷川由季¹⁾ 佐藤佳輔¹⁾ 金尚永¹⁾ 田中直伸²⁾ 林茂樹³⁾
菱田敦之³⁾ 川原信夫³⁾ 小林淳一²⁾ 高上馬希重¹⁾
北医療大薬¹⁾ 北大院薬²⁾ 基盤研薬植セ³⁾

C-34 腫瘍血管内皮細胞を標的とした核酸アプタマー修飾リポソームの開発

○松田剛 櫻井遊 兵藤守 Ara Naznin 原島秀吉
北大院薬

日本社会薬学会北海道支部

D- 1 1年生に対する学習支援の試み -化学を中心に-

○高梨香織
北海道薬大

D- 2 薬剤師実践英語教育プログラム構築の検討

○梅田純代 柳本ひとみ 板倉宏予 山田惠
グレゴリー・サムソナー 黒澤菜穂子
北海道薬大

D- 3 薬局実務実習から学んだヒヤリ・ハットの傾向と対策

○中村多妃子 山田真人 阿部真也 吉町昌子 後藤輝明
株式会社

D-4 電子版お薬手帳の普及に向けて

○橋 本 義 人 阿 部 真 也 吉 町 昌 子 後 藤 輝 明
ツルハ山の手店調剤 株式会社ツルハ

D-5 薬局薬剤師として在宅医療に貢献するために

○深 堀 泰 弘 阿 部 真 也 吉 町 昌 子 後 藤 輝 明
ツルハドラッグ元町駅前店

D-6 在宅業務における医療従事者間の連携～夕張在宅研修から学んだこと～

○橋 本 和 尋¹⁾ 阿 部 真 也²⁾ 高 野 紀 子²⁾ 吉 町 昌 子²⁾ 後 藤 輝 明²⁾
ツルハ旭川日赤前店¹⁾ 株式会社ツルハ調剤運営本部²⁾

D-7 脱法ドラッグの使用実態調査に基づく指定薬物の包括指定制度の施行効果の検討

○森 野 太 一¹⁾ 岡 崎 光 洋¹⁾ 戸 田 貴 大¹⁾ 横 山 隆²⁾
北海道薬大¹⁾ 札幌東徳洲会病院²⁾

D-8 健康フェアにおける自己採血を伴うHbA1c測定の参加者の意識・行動変容に関する研究

○工 藤 祥¹⁾ 岡 崎 光 洋¹⁾ 村 上 美 穂¹⁾ 高 市 和 之²⁾
北海道薬大¹⁾ 二十四軒薬局²⁾

D-9 服薬アドヒアランスとインヒビターに関する実証研究

○小山内 康 徳¹⁾ 木 村 礼 志¹⁾ 高 杉 公 彦²⁾ 児 玉 啓 史³⁾ 佐 藤 大 峰⁴⁾
桂 志保里⁵⁾ 櫻 井 秀 彦⁵⁾
㈱クリオネ¹⁾ センター薬局²⁾ ㈲フォーサイト³⁾ ㈲ぐち薬局⁴⁾ 北海道薬大⁵⁾

D-10 高齢者住宅・施設における処方薬に関する実態調査

○西 部 浩¹⁾ 櫻 井 秀 彦²⁾ 阿 部 倫 子¹⁾ 杉 森 祐 子³⁾ 古 田 精 一²⁾
島 森 美 光²⁾ 樋 栄 邦 直¹⁾ 小 林 要⁴⁾ 早瀬 幸 俊⁴⁾
北日本調剤¹⁾ 北海道薬大²⁾ 日総ふれあいケアサービス³⁾ ほくたけHD⁴⁾

D-11 北海道の病院・保険薬局を対象とした薬薬連携の実態に関するアンケート調査

○戸 根 佑 馬 野呂瀬 崇 彦
北海道薬大

D-12 学生の視点から在宅医療を検証する

○中 村 将太郎¹⁾ 内 山 一 弥²⁾ 田 本 敬 一²⁾ 石 倉 稔¹⁾ 阿 部 匠¹⁾
北海道医療大薬¹⁾ フォー・ユウ調剤薬局²⁾

D-13 小児造血器腫瘍患者における血漿中ミカファンギンの薬物動態パラメータに関する検討①

○岡 田 孝 太¹⁾ 杉 井 孝 綱¹⁾ 野 田 久美子¹⁾ 唯 野 貢 司¹⁾ 小 林 良 二²⁾
北海道医療大薬¹⁾ 札幌北楡病院²⁾

D-14 小児造血器腫瘍患者における血漿中ミカファンギンの薬物動態パラメータに関する検討②

○杉 井 孝 綱¹⁾ 岡 田 孝 太¹⁾ 野 田 久美子¹⁾ 唯 野 貢 司¹⁾ 小 林 良 二²⁾
北海道医療大薬¹⁾ 札幌北極病院²⁾

D-15 用時溶解型抗悪性腫瘍注射薬の溶解後の安定性予測

○菅 原 章 弘 千 薩 薫 野 田 久美子 唯 野 貢 司
北海道医療大薬

D-16 医療用および一般用ロキソプロフェンナトリウム錠の品質の比較検討

○下口谷 貴 久 保 儀 忠 八 木 直 美
北海道医療大薬

D-17 医療用ロキソプロフェンナトリウム錠の製品間における品質の比較検討

○岩 井 和 樹 澤 野 蒼 汰 下口谷 貴 久 保 儀 忠 八 木 直 美
北海道医療大薬

D-18 ロキソプロフェンナトリウム錠の製品間におけるインタビューフォームの情報量に関する比較検討

○平 田 真里奈 岩 井 和 樹 澤 野 蒼 汰 下口谷 貴 藤 原 一 清
久 保 儀 忠 八 木 直 美
北海道医療大薬

D-19 インターネットによるロキソプロフェンナトリウム錠の販売方法に関する調査

○久 保 儀 忠 下口谷 貴 八 木 直 美
北海道医療大薬

D-20 銀杏中毒における死亡例とその特徴

○天 童 有 香 阿 部 香奈子 丹 田 怜 奈 青 木 裕 香 石 川 美 香
小 林 大 祐 吉 村 昭 毅 和 田 啓 爾
北海道医療大薬